

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	港区白金台 5-13-29
園名	はっぴっぴ! 白金台園

1 活動のテーマ

<テーマ>

色 x 自然

<テーマの設定理由>

白金台園は、自然教育園をはじめとした緑豊かな環境に囲まれている立地特性があります。この地域資源を最大限に活かすため、自然との関わりを中心に据えたテーマ設定としました。

2 活動スケジュール

- 【①1月：干支の「馬」を色で楽しもう
- 【②2月：光と色の不思議を感じよう（セロファン × 光遊び）
- 【③3月：満開の桜を色でつくろう（絵の具 × 画用紙 × 紙吹雪）

3 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

自然に親しむことを目的として、大きな画用紙に木の幹や枝を描いた土台を用意し、桜の花を表現できるよう絵の具やスタンプ、手形・足形で活動できる素材を準備した。子ども達が全身を使ってのびのびと表現できるよう床にシートを敷き、複数の子どもが同時に関わられる広い制作スペースを確保した。また、安全に配慮しながら自由に移動し、自然のイメージを感じながら活動できる環境を整えた。

4 探究活動の実践

<活動の内容>

自然に見られる桜の木を題材として、春の自然に親しむ制作活動を行った。大きな画用紙に描かれた木の枝に、手形や足形、スタンプ等を用いて桜の花を表現し、色の広がりや重なりを楽しみながら活動を進めた。活動を通して、桜の色や木の形に触れながら、自然への興味や親しみを深めることができた。

子ども達は絵の具の感触や色の違いに興味を示し、手や足を使って繰り返し色を付けることを楽しむ姿が見られた。また、友達が活動している様子を見て同じように試したり、同じ木の上に花を増やしていったりする中で、自然と友達との関わりが生まれていた。保育者は「桜みたいだね」「木にお花が咲いたね」等と言葉を添えながら関わることで、子ども達が自然を身近に感じながら表現できるよう援助した。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

5 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

桜の木を題材にした活動を通して、子ども達が色や素材に積極的に関わりながら、自然の色や形に親しむ姿が多く見られた。また、大きな一つの作品を友達と一緒に作る中で、他児の様子に関心を持ち、表現を真似たり重ねたりする姿が見られ、関わりの広がりを感じることができた。今後も身近な自然を題材に取り入れながら、子ども達が自然への興味を深め、のびのびと表現を楽しめる活動を継続していきたいと考えている。

